

もりやま 市議会だより



No.167

2022年11月1日

ともに考えよう 守山の未来

進む！
新庁舎『つなぐ、^{もり}守の舎』整備工事
～令和5年9月の暫定供用に向けて、建設中！～



筈井 昌彦 議長、森重 重則 副議長が就任

はすい まさひこ
筈井 昌彦 議長



会派：新政会
議長、副議長、議会運営委員長、
公共施設調査特別委員長、
監査委員などを歴任。
吉身六丁目

もりしげ しげのり
森重 重則 副議長



会派：ネットワーク未来
文教福祉常任委員長、
環境生活都市経済常任委員長、
市議会だより編集委員長
などを歴任。
阿村町

議長就任挨拶

守山市議会議員 筈井 昌彦

このたび、令和4年9月29日開催の定例会会議におきまして、議員各位のご推挙により第50代議長に就任をいたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。議会の代表として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいり所存でございます。

さて、当市議会では令和元年10月より通年議会を導入し、災害等が発生した場合やコロナ対策など、緊急的な行政課題に速やかに対応するため、議長権限により議会を開会することが可能となっています。

このような中、守山市におきましては、少子高齢化をはじめ、公共施設の老朽化、原油等価格高騰による市民生活や地域経済への影響、自然災害への対応などの課題がございます。通年議会の機能を十分に活かしながら、市民の皆さまのお声をしっかり拝聴し、行政と議論を重ね、議員一丸となって課題解決に努めてまいります。

さらには、新庁舎の整備と併せまして、これまで以上に、市民の皆さまに開かれた議会への取組を推進し、市民の皆さまとともに豊かな市民生活の実現と市政の発展に尽くしてまいります。

令和4年9月29日

8月臨時会議

歳入歳出補正額 1,350万円

可決

第3次環境基本計画策定支援事業の補正

550万円

脱炭素社会に向けての実行計画をふまえた第3次環境基本計画策定に係る費用を補正するもの。

※全体事業費1,000万円(R4年度 550万円、R5年度 450万円)

環境保全と活性化を両輪とした道の駅全体構想検討事業費の補正

800万円

第2 なぎさ公園を中心とし、周辺環境を活かした道の駅構想の計画策定に係る費用を補正するもの。

その他案件

- ・契約済の守山市新庁舎整備DB事業について、物価高騰に伴う増額変更契約の締結についての決議
- ・北部図書機能・コミュニティ機能整備工事における請負契約の締結についての決議

9月定例会会議

公共施設の改修・コロナ対策・ マイナンバーカード普及促進に係る補正

歳入歳出補正額 13億2,632万円

可決

市民交流センター多目的ホール天井落下防止工事費等の補正

820万円

老朽化により、天井壁が落下し使用中止となっている多目的ホールの天井の改修工事を行うもの。

市民運動公園ソフトボール場改修工事費の補正

1億5,200万円

第79回国民スポーツ大会開催に向けた、市民運動公園ソフトボール場の改修を行うもの。

小中学校施設整備費の補正

- ◆小学校樹木剪定・緊急修繕工事等 900万円
- ◆守山北中学校プールポンプ改修工事等 260万円

新型コロナウイルス感染症対策費の補正

- ◆オミクロン株対応ワクチン接種に係る費用 1億3,000万円

初回(1・2回目)接種を完了した12歳以上の方が対象

マイナンバーカードの普及促進に係る補正

1億2,770万円

マイナンバーカードの普及促進策として、12月28日までに新たにマイナンバーカードの申請をし、令和5年3月31日までに受領される方に対し、交付時に商品券5,000円分を支給し、普及率75%を目指すもの。
(令和4年8月末時点の普及率：50.35%)

●●「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」開催 ●● 中高生と議員が意見交換!!

昨年度、市制施行50周年記念事業として開催された「私たちが守山の未来をつくる中高生サミット」について、今年度は、新たなメンバーで10月2日(日)、守山市民ホールにおいて開催されました。



今回は、市内在住・在学の中高生25名が集まり、“自分たちが地域にできることとは何か”の視点のもと、4つのチームに分かれ、地域の課題や社会問題などの様々な課題の中から4つのテーマが提言されました。

サミット当日は、提言されたテーマごとに、各チームのプレゼンテーションが行われ、熱い思いをもった中高生と市議会議員8名が意見交換を行いました。



総務常任委員会

委員会協議会

国スポ・障スポ大会に向けた施設整備について

令和7年9月28日(日)から10月8日(水)までの予定で滋賀県において開催されます、国スポ・障スポの施設整備等について行政より説明を受けました。

守山市では、ソフトボール(少年女子)、バレーボール(少年女子)、サッカー(少年男子)の大会が予

定されており、大会の施設改修と合わせ、将来的に必要な運動公園施設の改修が進められます。当委員会では、特にソフトボール場の整備について委員より活発な意見が出ました。

議員からの意見

- ・防球ネットの高さは、15mで問題ないのか。
- ・観覧席は、十分確保出来ているのか。
- ・交通公園との境の安全確保は出来ているのか。

国スポ大会に向けた施設整備(案)【市民運動公園】



文教福祉常任委員会

委員会協議会

小学校特別教室等空調整備事業の補正 2億9,960万円

6月定例会議での指摘があった「小学校の特別教室等の空調整備について」児童の健康保持と教育環境改善のため、来年の夏に間に合うよう、未整備の特別教室、相談室、配膳室等全69室へのエアコン設置工事を行います。

圏域地域包括支援センターの運営に係るアンケート結果について

令和4年6月に令和6年度からの委託に向けた対応策を検討するため、圏域センターの利用者等にアンケートを実施しました。

〈結果に対する市のまとめ〉

- ①利用者へわかりやすい情報配信が必要
- ②地域支援者との関係強化が必要
- ③支援困難事例のためのスキルアップ支援が必要

環境生活都市経済常任委員会

農水産業費の補正

◆新規就農者就農継続支援事業に係る補正 331万円

市外から、モリヤマメロンの新規就農を希望する者に対し、家賃補助を始めとした就農に必要なパッケージによる支援を行うことにより、新規就農者の確保を図るもの。

◆農業用燃油等高騰対策緊急支援事業費補助金 1,390万円

県において、農業用燃油等高騰対策緊急支援事業費補助金が創設されたことに伴い、必要となる費用を補正するもの。

◆農業者収入保険加入支援事業補助金 200万円

農業者が農業保険(収入保険事業)に加入する際の保険料の一部を助成するもの。(上限10万円)

◆赤野井港湾沈没船処分事業 40万円

赤野井港湾内に沈んでいるプレジャーボート1隻を撤去処分するもの。

議員からの
意見

モリヤマメロンの新規就農者への指導は、JAとしっかり連携するように。

委員会協議会

立入公園の整備について

都市計画公園・立入公園は、整備面積を約1.5haとし、駅前東口スポーツ広場の代替機能を含め、地域の憩いの場、また、災害時における避難場所の機能も備えた近隣公園として整備を進めています。

このような中、グラウンドの配置については、本年4月開催の当委員会協議会の意見や地元立入自治会からの要望を踏まえ再考し、次の理由により、計画を見直すこととなりました。

- ・河川保全区域内の工作物設置に理解が得られ、野洲川堤防側への配置も検討可能となったため。
- ・公園利用者の利便性や防犯面のみならず、グラウンドの砂埃や夜間利用による騒音など、より周辺の住環境に配慮できるため。

議員からの
意見

住民環境に配慮したグラウンドの配置見直しは良いのではないかな。

<グラウンド配置の見直し>



当初図面



見直し図面

子育て支援対策特別委員会

令和2年度～令和6年度を計画期間とする「守山市子ども・子育て応援プラン2020」の中間見直しにあたって、施設整備についてのこれまでの取り組みと現状、見直しの方向性について、議論しました。

幼稚園、保育所、認定こども園等

R3年度は待機児童を解消したものの、
R4年度は9名の待機児童が生じている。

整備計画				実施状況	
保育形態	対象	整備数	増加数	開設	備考
小規模保育所 (19人程度)	0～2歳	5カ所	95名	R3年	近江さくら、クララふたば、みらいほたる、フェリーチェ古高、守山ひよっこ
中規模保育所 (60人程度)	0～5歳	2カ所	120名	R3年	洛和みずのさと
				R6年	今後検討
認定こども園 (80人程度)	3～5歳	1カ所	80名	R3年	守山幼稚園こども園化

議員からの意見

- ・入園希望者数の推計は難しい。他市では、小規模保育所の経営が難しくなっている。認可保育園の整備を基本とすべきでは。
- ・保育士の確保と定着率が問題。処遇の問題だけでなく、人間関係も大切。
- ・入園調整は、こども家庭センターが出来たらどうなるか。

＜市の考え方＞

各年齢の計画値と申し込み実績から、中間見直しはしない。R6年度に整備計画している中規模保育所整備については今後その可否を検討する。

放課後児童クラブ

児童クラブの利用ニーズは年々増加している。
これまで守山、吉身、立入が丘小学校区に整備してきた。

施設名	学区	定員	開設	備考
守山児童クラブ室(新設)	守山	38名	R3	整備済
吉身スポキッズクラブ(新設)	吉身	34名	R3	
立入児童クラブさくら(新設)	立入	40名	R4	
玉津児童クラブ室(増設)	玉津	約40名	R5	整備中

議員からの意見

- ・河西児童クラブについて、利用者数と施設キャパが同じだが、施設整備はどうするのか。

＜市の考え方＞

玉津小学校区は、通年利用数が施設キャパを超えているので、増築して定員数を増やす。他の小学校区では通年利用数が施設キャパ内なので、プランの見直しはしない。

子どもの貧困対策

＜新たな取組内容＞

各種給付金、返還免除型給付型奨学金、生活困窮世帯への生活支援、小学6年生までの医療費助成。相談体制の強化、母子父子福祉対策推進事業を実施する。

＜今後の取組方針＞

「新たな家庭支援事業」や「こども家庭センター」への取り組みを検討し、重層的支援体制による家族まるごと支援体制を構築する。

議員からの意見

- ・地域子育て支援センターの取り組みが遅れている。未就園児と親の支援が必要。

公共施設調査特別委員会

守山市道における橋梁の長寿命化について

今回は、当委員会の調査項目である国土強靱化・インフラ整備に焦点を当て、守山市国土強靱化地域計画の中で、特に交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるための一つの方策として、守山市が管理する橋梁の現状把握と維持管理等について議論を行いました。

【橋 梁 数】 守山市が管理する橋長2 m以上の橋梁数 **456橋**(内、緊急輸送道路上の橋梁数 60橋)

【橋梁点検計画】 全橋点検を5年で1サイクルとし実施

【橋梁点検結果】

	第1サイクル(H26～H30) 456橋点検済				第2サイクル(R1～R5) 270橋点検済			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV
橋 数	296	140	20	0	181	85	4	0

※判定区分

区分	状 態
I	健全
II	予防保全段階
III	早期措置段階
IV	緊急措置段階



天満大橋の橋梁点検状況(守山市小浜町地先)

【橋梁補修工事】

Ⅲ判定の橋梁については、計画的に補修工事を実施し、補修完了後は、Ⅱ判定の補修に移行する予定

議員からの
意見

- ・橋梁点検は専門的な知識が必要だと思うが発注先はどこになるのか。
- ・長寿命化の取組みとともに耐震化の計画も重要である。

議会改革・広報公聴特別委員会

議会のペーパーレス化について

来年9月の新庁舎稼働に向けて検討を進めています。

ペーパーレス会議の検討事項

- ・導入機器およびソフトウェアの選定
- ・会議システム導入後の議会運営
- ・効率的な会議運営に向けて課題の洗い出し

議員からの
意見

- ・議員側にも行政側にも、常識的な配慮は必要。双方が協力する形で、より良い会議運営をしていきたい。

対話型イベントについて

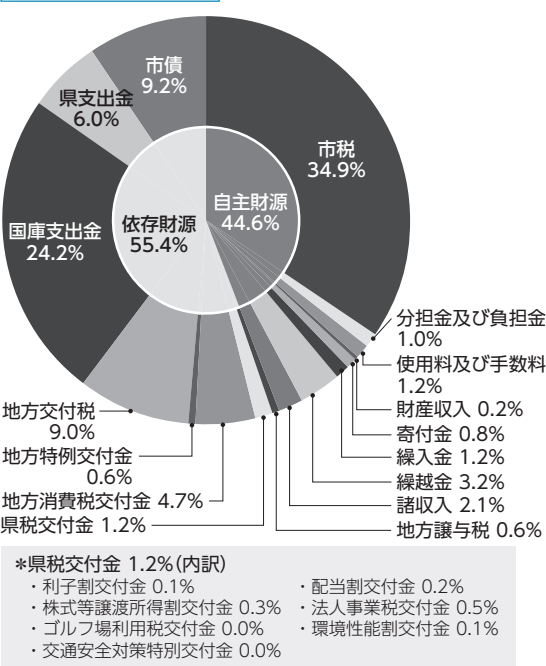
8月24日(水)に予定していましたが、中高生と学校問題を考える「守山市民サミット」は、新型コロナウイルス感染拡大による関連イベントの中止などを受け、開催延期となりました。

議員からの
意見

- ・参加者の募集については、中高生に限らず対象を広げて良いのではないかと。
- ・市民懇談会等で取られている無作為抽出を利用した方法なども検討してはどうか。

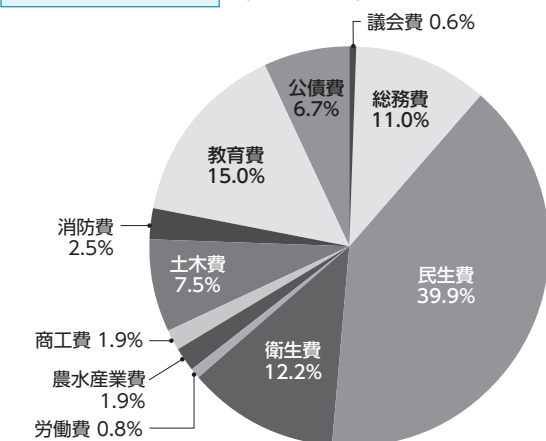
2日間の決算特別委員会において、令和3年度の本市における主要な事業の内容・お金(税)の使い方について審査しました。各部局からそれぞれの事業について説明があり、委員からは予算が適正かつ妥当に使われたかどうかの質問や意見を行い、一般会計および特別会計等の決算を認定しました。

一般会計 (歳入) 令和3年度



前年度と比較し、98億円余(20.9%)の減少となりました。
増加に転じたのは、市税、法人事業税交付金、地方消費税交付金、地方特例交付金、地方交付税などであり、一方、減少に転じたのは、国庫支出金、県支出金、繰入金、市債などでした。
増要因としては、一部企業の業績好調を背景とした市税(法人市民税・固定資産税)の増や法人事業税交付金の増、また、追加交付のあった地方交付税の増等によるものです。一方、減要因としては、特別定額給付金給付事業費補助金の皆減による国庫支出金の減が特に大きく、さらに、環境施設整備事業および交流拠点施設整備事業等に係る市債の発行が大きく減少したことも要因です。また、繰入金についても、令和2年度に環境施設整備事業および守山南中学校大規模改造事業に多額の繰入金を充当したことが影響し、令和3年度は減となりました。

一般会計 (歳出) 令和3年度



前年度と比較し96億円余(21.1%)の減少となりました。総務費については、市民一人につき10万円を支給した特別定額給付金に係る事業費の皆減等により73億円余減少し、衛生費については、環境施設整備事業費や環境施設付帯施設整備事業費の減等により59億円余の減少が大きな要因です。一方、民生費については、新型コロナウイルス感染症に係る生活支援として実施した、子育て世帯への臨時特別給付金事業費や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費等や障害福祉関係の事業費等も増となり、25億円余の増加となりました。その他に守山野洲市民交流プラザ移転関連事業費の増により労働費が増、また、JR貨物の所有地購入により商工費についても増となるなど、JR守山駅東口での新施設整備関連に伴う事業費が大きく増加しました。

議員からの意見

【一般会計】

総合政策部

- ・市広報の郵送の申し出があれば、しっかり対応してほしい。
- ・スマホ教室は、会館に出向く教室ばかりではなく、高齢者サロンに組み込んで実施するなど開催の幅を広げてはどうか。
- ・戦争体験者が少なくなる中で、戦争風化防止の取り組みを一層強化してほしい。

総務部

- ・指定管理者制度が当初の目的に見合っているかの検証が必要である。
- ・税の公平性担保のため、財産調査や滞納処分など税収確保に努めてほしい。

環境生活部

- ・エコパークの遊具の選定はどうだったか。安全対策をきめ細かにしてほしい。
- ・パブリックコメントの結果について、市民から意見が少ないと思う。本市には多くの団体があるので、そこにも周知をするなど効果的な意見徴収の手法を考えてはどうか。

健康福祉部

- ・生活保護について、被保護者だけでなく、生活保護の相談に来られた方も含め、早めに健康状態の把握をしてほしい。

- ・アウトリーチ（家庭訪問など）は複数対応を。また、人員体制も充実してほしい。
- ・39歳以下健診の受診数が減っているが、その要因の分析はしているのか。

こども家庭部

- ・こども園の短時部の預かり保育は何故出来ないのか。
- ・あゆっこ教室について、在籍園や保護者との連携をしっかりとしてほしい。
- ・小規模保育園の保育士の指導、連携はどのようにしているのか。

都市経済部

- ・遊具使用の年齢制限がある場合は、撤去も含めて考えた方がいいのでは。
- ・大雨で川が冠水している状況を見受けるが、その対策は。
- ・地方創生推進事業のイベント等は、費用対効果を検証した中で、継続性を持って取り組んでほしい。

教育部

- ・図書館の利用者が増えている。引き続き、利用者が心地良く利用いただけるようにしてほしい。
- ・学校管理修繕に係る予算については、もう少し学校からの要望に対応してほしい。
- ・A I ドリルの活用について、子ども達が効果的に使えるように検証してほしい。

令和3年度決算を1ヶ月の世帯収入が50万円とした場合



(単位：千円)

〔家庭の場合〕

(単位：円)

		R3	R2
歳入	市税	12,995,205	12,923,314
	地方交付税等	5,982,559	4,605,025
	国県支出金	11,234,070	18,864,143
	市債	3,363,800	6,701,300
	繰入金	440,185	1,340,023
	繰越金	1,187,582	1,235,002
	その他収入	1,995,436	1,377,270
	計	37,198,837	47,046,077

歳出	人件費	5,411,355	5,115,778
	扶助費	9,975,368	7,755,302
	公債費	2,442,396	2,409,888
	物件費その他	5,342,747	4,404,799
	補助費等	3,630,869	11,794,875
	繰出金、その他	2,269,600	2,238,181
	積立金	793,077	186,008
	投資的経費	6,305,961	11,953,664
	計	36,171,373	45,858,495

繰越金 1,027,464 1,187,582

		R3	R2	
収入	給料	175,000	137,500	給料が少し増えた
	親からの仕送り	231,000	251,000	仕送りが減った
	借金	45,000	70,000	借金が減った
	貯金の取り崩し	6,000	14,000	取崩しも減らせた
	前月節約を頑張ったお金	16,000	13,000	
	給料以外の収入	27,000	14,500	
	計	500,000	500,000	

支出	食費	73,000	54,000	少し余裕が出来た
	家族の医療費、保険料	134,000	82,400	治療が増えた
	住宅ローン	33,000	25,600	
	光熱費、日用品等雑貨	72,000	46,800	節約しないと
	習い事、税金等	49,000	125,350	減らせた
	子どもへの仕送り	30,000	22,850	仕送りが増えた
	貯金	10,000	1,975	少し余裕が出来た
	家のリフォーム、増改築	85,000	127,000	修理が減った
	計	486,000	485,975	

翌月へのへそくり 14,000 14,025

特別会計

(単位：千円)

	歳 入		歳 出	
	R3	前年比率	R3	前年比率
① 国民健康保険特別会計	6,713,084	0.3%	6,701,305	0.2%
② 土地取得特別会計	67,963	▲ 45.0%	62,875	▲ 47.0%
③ 育英奨学事業特別会計	13,856	58.9%	11,314	163.7%
④ 介護保険特別会計	5,473,949	1.0%	5,389,908	1.0%
(保険事業・サービス事業勘定)	32,554	11.4%	32,554	11.4%
⑤ 後期高齢者医療事業特別会計	938,374	3.5%	937,133	3.4%
⑥ 農業集落排水事業特別会計	176,850	▲ 19.6%	176,850	▲ 19.1%
合 計	13,416,630	0.1%	13,311,939	0.1%

守山市において特別会計は、上記の通り6つの特別会計があります。介護保険事業等今後予算の増加が見込まれる事業はありますが、おおよそ計画通り、事業に取り組めていました。

公営企業会計

水道事業会計 収入総額 **1,655,800千円** 支出総額 **1,439,608千円**

令和3年度末の給水人口は、85,041人で、前年度比552人の増となりました。

年間配水量は9,732千㎡で、前年度比64千㎡の減、有収水量は8,986千㎡で前年度比34千㎡の増となりました。今後も、事業の健全経営を実施し、使用者目線に立った適切な事業に取り組むよう、議会としてチェックしていきます。

下水道事業会計 収入総額 **2,375,818千円** 支出総額 **2,172,668千円**

守山市における水洗化率は97.4%となりました。年間総排水量は11,748千㎡で、前年比40千㎡の増、有収水量は9,942千㎡で前年度比236千㎡の増となりました。配管の老朽化対策等をしっかり進める必要があります。

病院事業会計 収入総額 **488,546千円** 支出総額 **219,742千円**

守山市民病院は平成30年4月1日より指定管理者制度を導入し、社会福祉法人恩賜財団済生会支部滋賀県済生会を指定管理者とし、守山市民病院の基本的な医療機能を維持しながら、令和3年7月には、リハビリ病棟を100床に再編され、回復期の機能強化に取り組まれました。

議員からの意見

【国民健康保険特別会計】

- 所得階層別の加入者数等の分析が必要である。

【育英奨学事業特別会計】

- 返還が出来ない人への回収方法は、奨学生に寄り添った回収に努めてほしい。

【介護保険特別会計】

- 介護事業所が増える中、指導していく立場の職員に係る専門性の維持はどのようにしているのか。スタッフの確保はしっかりとしてほしい。

【後期高齢者医療事業特別会計】

- 高齢者の健康を維持する対策や重症化予防の対策は。

【下水道事業会計】

- 不明水対策としてカメラ調査をしている具体的な結果を報告してほしい。

【病院事業会計】

- 市民病院の機能として、外科の常勤医師の配置などが必要ではないか。